

冬番組『色とりどりの冬の星』

【投影期間】2023年12月9日(土)～2024年2月28日(水)

空気が冷たく冴えわたる冬は、1年で最も星のきらめきが美しい季節です。なぜなら、明るい1等星が7個もあり、青や赤など様々な色の星が見えるからです。

そんな多くの1等星の中で1番明るいのが、おおいぬ座のシリウスです。夜の街の明かりにも負けずに青白く光り、すぐにシリウスとわかります。ほかに、オリオン座のベテルギウスとリゲル、こいぬ座のプロキオン、おうし座のアルデバラン、ふたご座のポルクス、ぎょしゃ座のカペラと1等星が光り輝きます。この冬の1等星たちを結びと、「冬の三角」と呼ばれる正三角形や、「冬のダイヤモンド」と呼ばれる大きな六角形を見つけることができます。

また、おおいぬ座とふたご座、二つの星座のお話もあります。ぜひ、宝石のように輝く星をご覧ください。

★利用案内★

投影日時

- 土曜投影 11時00分～11時30分 ○日曜投影 14時～14時30分
- プラネタリウムの投影スケジュールにつきましては、児童センターまでお問い合わせいただくか、児童センターだよりまたは、ホームページでご確認ください。
- 入場は投影開始15分前からです。
- 定員 100名
- 投影は、幼児も観覧できますが保護者の同伴が必要です。

休館日

- 毎週火曜日、祝日(5月5日を除く)
- 年末・年始(12月29日～1月3日)

観覧料

- 無料です。



新型コロナウイルス感染の5類感染症移行後も、基本的な感染症対策(手洗い手指消毒、換気等)の啓発を継続します。ご理解ご協力のほどお願いいたします。

入館の際は「児童センター利用簿」の記入をお願いしております。

また、投影は予告なく変更または中止になる場合がありますのでご了承下さい。



伊勢崎市児童センター

〒372-0023 伊勢崎市粕川町1609
TEL. 0270-23-6463 FAX. 0270-23-6477
<http://www.ise-shakyo.or.jp/>

伊勢崎市児童センター

検索

プラネタリウム 冬

2023~24 No.160

表紙「ぎょしゃ座」

「ぎょしゃ座」は、馬車をあやつる王の姿を表した冬の星座です。天の川にうかぶ、将棋の駒のような五角形の形が特徴で、明るい1等星カペラが美しく輝いています。まず「オリオン座」を見つけてから、「おうし座」の2本の角の方向へ眼をうつし、その少し先のあたりをながめてみると、自然に五角形をした星の並びがわかります。5つの星のうち一番明るく、やや黄色く見えるのが「カペラ」です。明るい星が多く、見つけやすい形をしているのですが、意外と知られていない星座の一つです。

神話では「ぎょしゃ座」は鍛冶(かじ)の神ヘパイトスの血を引くアテネの国王エリクトニウスをかたどった星座です。エリクトニウスは、4頭の馬をつないだ馬車を発明し、これを戦車にして大活躍しました。そしてその功績で天に上げられ、「ぎょしゃ座」になったと言われています。

一説によると、エリクトニウスは生まれつき足が悪くて歩くことができなかったため、自由に動きまわるために馬車を開発したとも言われています。

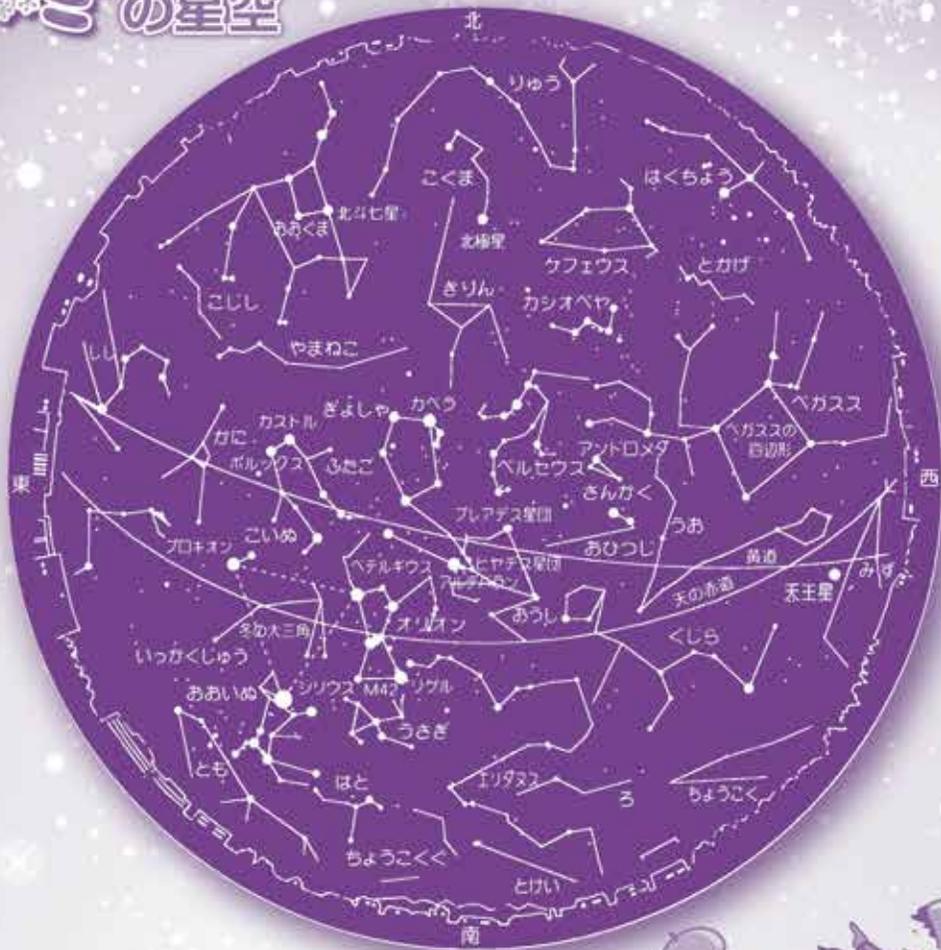


トレミーの48星座の一つ

冬の星座の探し方

冬の空は、たくさんの一等星が輝いています。専らに注意して、星や星座を探してみましょう。

冬の星空



★オリオン座

オリオンのベルトに位置する三つ星と、そのまわりにある4つの明るい星が目印です。その中でオリオンの右肩にある赤い星ベテルギウスと、左足先にある白い星リゲルはどちらも一等星です。三つ星の少し下には、オリオン大星雲ともよばれる散光星雲 M42 があります。

★おおいぬ座

オリオン座の左下あたりにあり、おおいぬの鼻先にあたる、とても明るく輝く一等星のシリウスが目印です。このシリウス、太陽以外の恒星の中（夜見える恒星）で、一番明るいものです。

★こいぬ座

オリオン座のベテルギウスやおおいぬ座のシリウスのそばに、もうひとつある一等星プロキオンが目印です。ベテルギウス・シリウス・プロキオンをつないでできる、きれいな三角形を冬の大きな三角といえます。

★うさぎ座

オリオン座の足元にある星座です。かりゅうどのオリオンや、りょう大のおおいぬやこいぬに遠いかけられる、ちょっとかわいそうな星座です。どうたいの三角形と、うさぎの耳に当たるVの字に並んだ星が目印です。

★おうし座

オリオン座の右上にあります。おうしの目の部分にあたる真っ赤な一等星アルデバランと、そのすぐそばに星がVの字に並んでいるヒヤデス星団が目印です。おうしの肩の部分にあるプレアデス星団（すばる）も大変美しいので、ぜひとも見つけてみましょう。

★ぎょしゃ座

オリオン座の4つの星が作る長方形の上あたりにあります。一等星カペラを頂点の一つにして、星が五角形に並んでいるのがぎょしゃ座です。

★ふたご座

白い二等星のカストルと、黄色の一等星ホルルクスが仲良くならんで光っているのが目印のふたご座です。カストルがふたごの兄の顔の部分に、ホルルクスが弟の顔の部分にあたります。

天体ニュース

★★★ふたご座流星群

冬の天体ショーと言えば、なんといつてもふたご座流星群です。しぶんぎ座流星群、ペルセウス流星群と並ぶ三大流星群の一つです。今年のふたご座流星群は、12月14日の夜にはピークを迎えます。今年には月明かりがなく最高の条件です。1時間に40~50個の流れ星を見られる可能性があります。

★★★冬至

冬至というのは北半球では日照時間が最も短くなる日、太陽の高さも最も低くなる日です。冬至の行事食として「かぼちゃ」（南瓜）が食べられています。「か」の付く食べ物を食べることで運氣を呼び込むことができるそうです。また、冬至にはゆず湯に入る風習があります。厄払いの意味があり新しい運氣を呼び込む前に身を清める意味合いもあるとされています。

★★★しぶんぎ座流星群

しぶんぎ座流星群は、放射点がりゅう座とうしかい座の境界付近にある流星群です。12月28日~1月12日にかけて活発になり、1月4日に極大となります。5日深夜には月が昇ってくるため、月が昇る前までが観測のチャンスとなります。

12月20日:PM10時ごろ 1月20日:PM 8時ごろ 2月20日:PM 6時ごろ

月のこよみ

12月

- 5日 ○下弦
- 13日 ●新月
- 20日 ●上弦
- 27日 ○満月
(コールドムーン)

1月

- 4日 ○下弦
- 11日 ●新月
- 18日 ●上弦
- 26日 ○満月
(ウルフムーンまたは
オールドムーン)

2月

- 3日 ○下弦
- 10日 ●新月
- 17日 ●上弦
- 24日 ○満月
(スノームーンまたは
ハンガームーン)